

令和7年度 上田市立 塩田中学校 学校評価シート

学校教育目標	めざす子どもの姿(中期的目標)
1 充実した学習を積み上げる 2 たくましい心身を育てる 3 正しい道義心を伸ばす 4 豊かな心情を培う ～考える・鍛える・慈しむ～	ふるさとに愛着と誇りをもち、知・徳・体が調和し、社会的に自立した人間 ～「あいさつ」「清掃」「合唱」を中核として～
	今年度の重点目標
	1 生徒が安心して生活できる学校づくり
	2 目標に向かって努力できる生徒の育成
	3 地域との連携＝開かれた学校

総合評価					
年間を通じて、地域や大学生のボランティアなど、多くの方々の協力を得ることができた。そのような地域との交流や総合的な学習の時間を通じ、生徒のふるさとへの愛着を深めることができた。重点目標である「あいさつ」「清掃」「合唱」については、全校で取り組む時間を設定したことで、生徒の意識や達成感も高いものとなった。					
成果と課題	A	B	C	D	改善策・向上策
●多くの地域の方々にご協力をいただき、様々な教育活動を行うことができた。 ●生徒アンケートの結果から「自分の目標に向かって頑張ることができている」への肯定的な回答は80%以上であった。今後も支援を継続し、さらなる向上を図る。		○			●学習することや人と関わること、目標に向かって進んでいくことに楽しさや達成感を味わうことができるよう、地域との連携を学校運営の軸の一つとして据えていく。 ●学校の取り組みについて、HPなどを活用した発信を継続していく。

領域	対象	評価項目	評価の観点
学校教育	学習指導	協働的に学び、自己の考えを深めることができる生徒	「学習問題」「学習課題」が提示され、ねらいをもった授業展開がなされているか
			個で学ぶ時間に加え、対話的・協働的に学び合う時間が設定されているか
			授業の終末では、自己の学びを自分の言葉で表現する「振り返り」の時間が設定されているか
			生徒が「分かる・できる」を実感できる探究的な授業になっているか
		目標に向かって、自ら計画、実施、改善できる家庭学習	期限を定めた課題の提示やテスト前の自主学習期間を通じて主体的に家庭学習に取り組める環境がつけられているか
	生徒指導	適切な生徒理解	各種アンケートや教育相談日を活用し、個々の良さを認めながら生徒一人一人との対話が行われているか
		生徒に寄り添った支援	状況をふまえた適切な支援が行われているか
	生活指導	友や地域とつながる挨拶	生徒が自ら友や地域の方々に進んであいさつできるような支援ができていますか
		自らを磨く無言清掃	生徒が自ら清掃場所を見つけ、時間いっぱい無言で行えるような支援ができていますか
	教育課程	心を響かせる歌声	生徒が主体的に合唱活動に取り組めるような支援ができていますか
個と集団の成長を図る生徒会・部活動		生徒の願いを取り入れた生徒会・部活動になっているか	
学校運営	しおだっ子応援団や学生ボランティアとの連携	環境整備や学習支援、地域交流など積極的なボランティアの協力が得られているか	
	「地域」を中心に据えた探究的な総合的な学習の時間	地域の協力を得ながら探究的な活動を行っているか	
	開かれた学校づくり	学校だよりや学年だより、ホームページ等で学校からの情報が発信できているか	

成果と課題	A	B	C	D	改善策・向上策
●授業のユニバーサルデザイン化を推進しながら、協同的に学び、自己の考えを深めることができる生徒を目指して学習指導に取り組んだ。「学習課題」や「Today's Goal」の提示に加え、個で学ぶ時間だけでなく、対話的・協働的に学び合う時間の設定が定着しつつある。 ●家庭学習については主体的に取り組める生徒とそうに取り組むのが難しい生徒がみられる。生徒の現状を把握しながら、個々の生徒が主体的に家庭学習に取り組めるようなステップを考えていく必要がある。		○			●生徒が「分かる・できる」を実感できる授業を大切にしながら、探求的な学びに繋がっていくように研修を重ね、授業力向上を図っていく。 ●それぞれの活動の目的を明確にしながら、個で学ぶ時間と対話的・協働的に学び合う時間の設定を今後も心がけていく。 ●家庭学習への取り組みの現状を適切に捉え、自主的な家庭学習習慣の形成を目指しながら、家庭学習の意義や進め方等について生徒、保護者、学校の三者共通で認識できるようにしていく。
●毎月のアンケートや教育相談から、生徒の実情把握とチーム体制での支援に努めた。生徒アンケートの結果は肯定的な回答が85%を超えているが、今後も様々な生徒の悩みに寄り添うことを大切にしたい。		○			●各種アンケート等の生徒の記述や思い、教育相談で生徒一人ひとりと言葉を交わす時間を大切にしたい。生徒一人ひとりの声を受け止め、状況を的確に把握しながら、迅速な支援・指導に努める。
●生徒会の主体的な活動を大切にし、生徒会が中心となってよりよい学校生活に向けて呼びかけたり、活動を行ったりすることができた。 ●生徒アンケートの結果から「あいさつ」「清掃」「合唱」などに主体的に取り組んでいると肯定的に捉えた回答が85%を超えている。その一方で、「あいさつ」については保護者アンケートの回答結果との差が大きい。		○			●日々の生徒会活動を大切にして、生徒自身が動きながら日常生活を向上させていくような取り組みを今後も継続する。また、一つ一つの生徒会活動への意識が高まるよう、他の委員会との活動が重なりすぎないようにする。 ●「あいさつ」「清掃」「合唱」等への生徒の肯定的な自己評価を活かして、周囲からの価値づけも深められるようにしていく。
●「総合的な学習の時間における」地域連携は、生徒・保護者共に肯定的な回答が90%を超えている。 ●「総合的な学習の時間」の発表を文化祭に位置づけた。地域との繋がりを感じたり、地域の方と交流をしたりする貴重な場として今後も継続していく。	○				●地域の協力や地域の方との交流を今後も継続していく。部活動の地域展開など、学校教育の在り方が大きな変化を迎えている時期であるため、今までとは違った形での学習サポート等を考えていきたい。 ●取り組みについて更に周知できるようにするため、各種通信やHPを充実させる。

○ 評価基準 A・・・達成できた B・・・おおむね達成できた C・・・やや達成できなかった D・・・達成できなかった